

育成 モノづくり人材

Vol. 95

山形県立 酒田光陵高校



鈴木校長

2012年4月に山形県酒田市内の四つの公立高校が統合し、新たに誕生した山形県立酒田光陵高校。旧酒田工業、旧酒田商業、旧酒

田北の県立3校と市立の旧酒田中央が一つになり、専門教育と普通教育を併せ持つ高校として7年目を迎えた。

現在の総生徒数は約1050人。北海道・東北地域で有数の規模

時代から工業教育の後方支援を担っている。

会「が旧酒田工業高校

高生ものづくりコン

【DATA】

- ▷校長=鈴木和仁氏
- ▷所在地=山形県酒田市
- ▷学科構成=工業科（機械科、電子機械科、エネルギー技術科、環境技術科）、普通科、商業科（ビジネス流通科、同会計科）、情報科
- ▷生徒数=約1050人
- ▷主要設備=CAD/CAM、フライス盤、旋盤、マシニングセンターなど
- ▷主な進路=花王酒田工場、東北エプソン、ユーテック、TDK庄内、キヤノン電子、東北電力など

するジユニアマイスター1頭彰では、14年度に初めて全上位30位以内に入った。山形県では初めてのことだつ

地元「協力会」が後方支援

を持ち、けん引役でもある工業科は約480人が学ぶ。

工業科は機械、電子機械、エネルギー技術の4科目で構成。工業科は地元産業界との結びつきが強く、地元のモノづくり

テスト支援やメカトロアイデアコンテスト製作支援など、各種の教育活動振興費を毎年度予算化している。鈴木和仁校長は「モノづくりは、地元産業界に向けた地元産業界の期待は熱い」と強調する。

工業科のモノづくりたどり。同制度は資格・検定の合格を通じて、生徒が身についた

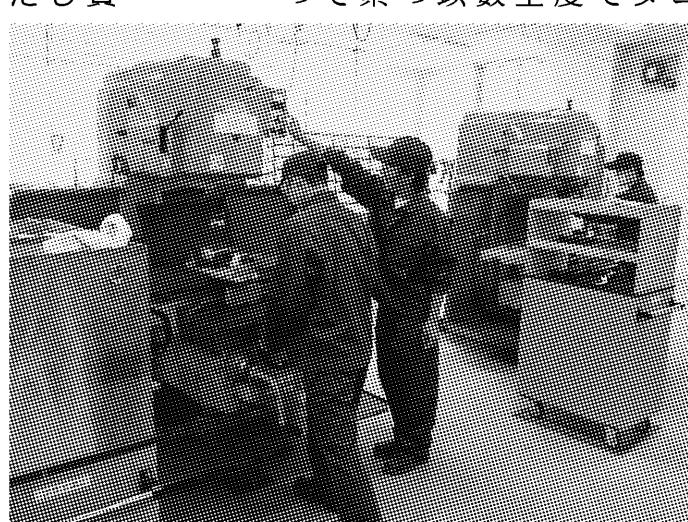
知識や技術・技能を評価する。旋盤作業部門では開校初年度以来、県の代表として計3回の東北大

会出場。また全国工業学校長協会が主催する全国工業学校長会議に、山形支局長・大矢

の講演を行った。この講演は珍しい。資格取得は質・量とともに全国有数の位置になるとみて

いる。17年度の工業科の就職率は90%。県外企業との連携による新たな

（金曜日に掲載）



工業科の機械加工実習

18年2月には、商業科の生徒が運営する地域と学校をつなぐ一般社団法人「SKIES（スカイズ）」が学びの一環として立ち上げられた。これを機に、ビジネスの視点を取り入れ自分の可能性を広げていく工業教育も展望する。

れる環境にある酒田光陵高校。モノづくり力をベースに地域で活躍する新しい人材の育成を模索する。

（山形支局長・大矢）

かだが多かった。鈴木

校長は「専門性を高め

ていくことがこれから

（山形支局長・大矢）

（山形支局長・大矢